

平成 27 年度 学校法人染葉学園 事業報告書

1. 平成 26 年度において文部科学省より職業実践専門課程の認証を受けた東海福祉専門学校の介護福祉科が完成年度を迎え卒業生を出した。
2. 4 専門学校の将来計画を推進した。
 - ①静岡歯科衛生士専門学校の教育課程の改編
 - ②静岡新美容専門学校に校名変更し、美容学科の教育課程も 4 専攻に分けより専門性の高い職業人の養成に努めた。
 - ③東海福祉専門学校は平成 28 年度に静岡こども福祉専門学校に校名変更すると共に厚生労働省指定の保育士養成校の諸準備に取り組んだ。
 - ④4 専門学校の教職員・学生の交流を積極的に行った。
3. 4 校合同スポーツ祭の実施
袋井市エコパークにおいて 10 月 5 日に実施し、交流を深めた。
4. 学生募集について、入学定員確保のため新しい入試方法、学費免除方法の検討と実施により 3 校ではほぼ確保できた。

平成 27 年度 東海福祉専門学校 事業報告書

1. 東海福祉専門学校の職業実践専門課程の状況
 - ①教育課程編成委員会の開催状況(委員 10 名)
平成 27 年 9 月 17 日、11 月 9 日開催
主な意見
 - ・ 2 学科の合同授業を実施し、コミュニケーション能力を高める努力をする。
 - ・ 手書きにより実習簿を作成しているが、現場では殆んどがパソコンの記録である。就職試験でもパソコンの質問を受ける。パソコン使用を検討する。
 - ・ 業界人、学校教員 10 人により組織した委員会を 2 回開催した。
2 学科の教育課程の状況について各委員より活発な意見が出された。保育実習・幼稚園実習・介護実習についても現場の委員より実習のあり方について意見交換した。
 - ・ 各学科の教育目的に照らした職業実践専門課程独自の实習評価方法を検討。
 - ・ 介護福祉科が完成年度となり卒業生全員が職業実践専門課程（教育・社会福祉専門課程）の称号を受け卒業した。
 - ②各学科共に職実践専門課程の指定を踏まえケーススタディ、卒業研究発表などを積極的に行い研究・学習を高めた。
介護福祉科ケーススタディ発表会(1 年 2 回)、卒業研究発表会(2 年、障害者・高齢者各 1 回)、社会福祉士相談援助実習ケーススタディ発表会を 2 月 5 日、こども福祉学科卒業研究発表会を 9 月 30 日に開催した。
2. 平成 28 年度に向けて保育士養成に必要な 500 冊の図書の実と校舎の補修を図った。

平成 27 年度 東海文化専門学校 事業報告書

平成 27 年度は、英語・数学・国語の 3 科目について習熟度別授業を実施し、生徒の学力に対応し得意科目はより能力を伸ばし、苦手な科目に関しても興味を持たせ学習意欲を高めることができた。

生徒指導については、従来の挨拶・時間の厳守・正しい服装の基本的生活習慣の確立の徹底を図ることと、長期欠席者への早めの対応を行った。

1. 学習指導

①専門科目の充実

資格取得・検定の合格に向け授業での試験対策を強化し、さらに能力のある生徒が積極的にコンクール等へ出品できるように選択授業のクラブ設定を行った。

②習熟度別授業(英語・数学・国語)の実施

③クラブ活動による対外的アピール

クッキング 日本文化がスイーツコンテストにおいて入選を受賞し、今年度スタートした書道クラブは「徳川家康 400 年記念書道公募展」において銀賞を受賞した。

④視聴覚機器など教育機器の積極的活用

2. 進路指導

①就職を希望する生徒に対し正規での雇用を目指すよう指導を行った。

②1 年次の学校見学やオープンキャンパスへの参加を促した

3. 生徒指導

①基本的生活習慣の徹底

②問題行動については必ず全教員で情報を共有し対応することができた。

平成 27 年度 静岡新美容専門学校 事業報告

開校 9 年目となる今年度は、新たな教育改革の実行年度となる。

HBA ホスティックビューティーアカデミーの教育理念のもと、一人ひとりの教員が自己のスキル向上のため自己研鑽し、確実に新規教育プロジェクトを進め、業界及び在校生、高校生の要望に応えることのできる静岡新美容専門学校として新たに生まれ変わる。

1. 美容師国家試験 全員合格 100% ⇒ 達成

2. コンテストにおいて全国大会出場はもちろん、入賞するための教員による教材研究、並びに学生の技術及び精神力の向上 ⇒ 達成

2. ファッションブティック、美容ブティックの学生を育てる。(業界情報の収集、専門図書の活用)

⇒ 図書の活用が消極的。授業及びコンテストなどと連動した図書への興味喚起を行う。

3. 教員のスキル向上

① 模擬授業の実施による授業テクニックの向上

② 自己研鑽による学生指導力の向上

③ できる学生はどこまでも伸ばす。理解に時間のかかる学生に対しては、習熟度だけの評価ではなく、それぞれの学生の適性を見極めた指導を行い、やる気スイッチを入れる。

4. 退学者を出さないきめ細かい取り組み。

5. 静岡新美容専門学校という校名変更に伴い、情報発信を積極的に行う。

平成 27 年度 静岡歯科衛生士専門学校 事業報告

開校 9 年目を迎え、新たな教育改革の一步を踏み出すことができるよう、様々な取り組みを試していく年度。

1. 歯科衛生士国家試験 全員合格 100% ⇒ 未達成。国家試験を必ず全員合格するために、3 年次はもちろん、1 年次からの取り組みについてのシステムを構築する。
2. 日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン資格 合格 100% ⇒ 達成
3. 歯科だけにとどまらず、その他の分野にも興味を持つことができる柔軟な学生を育てる。
4. 歯科フリークの学生を育てる。(業界情報の収集、専門図書の活用)
5. 教員のスキル向上
 - ① 模擬授業の実施による授業テクニックの向上
 - ② 自己研鑽による学生指導力の向上
 - ③ 専門分野の中から得意分野をもち、技術向上だけでなく、新たな授業開発につながる研究を行っていく。
⇒ 歯科と美容のコラボによる新授業、デンタルエステを開発し、オリジナル授業の実施。
 - ④ できる学生はどこまでも伸ばす。理解に時間のかかる学生に対しては、習熟度だけの評価ではなく、それぞれの学生の適性を見極めた指導を行い、やる気スイッチを入れる。
6. 2 年次からの臨地実習に向けて、会話力及びコミュニケーション力の向上のため、1 年次より取り組む。